

10月の様子

ある日散歩に行ったとき、柿の木を見つけました。柿は柿でも、「百目柿」や「富士柿」といった「〇〇柿」という名前があることを伝えると、子どもたちも興味を示していました。

そのことをきっかけに、次の日柿の観察をしました。



皮はつるつるで…
「ちょっと匂いがある！」



「葉っぱ、固いよ」



「切った方がいいにおいがある」

普段はすでに切ってある柿の姿を見ていた子どもたちですが、この時間を通して、つるつるする皮、柿を切るとさらにいいにおいがあること、茶色の点々模様があることなど知ることができたようです。

そして後日のこと…



園庭に落ちていたかりんを見つけた男の子がいました。みんなも興味津々で見えていたのですが、「切ったら中の色何色かな?」「どうやって切れるの?」など不思議に思った子がいて、他の子も気になり始めました。



私たちが知らなかったのですが、包丁を用意したものの、固くて半分に切るのがやっとでした…
次第に子どもたちから「頑張れ～」の声、そして切れると「わ～」と拍手がおこりました！



なんかりんごのにおいがある



種とってみる?

柿の観察をしてから、他の食材にも興味を持ちもついろいろなことを知りたいという気持ちが生まれました。
こういった活動を引き続き大切にしていきたいと思えます。



おいしそう♪



種がちいさいよ



ぶつぶつがいっぱい!